

【報告】

概要: 交流を主旨としたバブルサッカーを行い、その余剰費用や当日募金を東北に寄付する。

①企画段階

企画の目的は多くのつながりをつくること。多くの人と繋がり、クラブ員の出会いを増やし、ひいては会員増強に、個人のプライベートの充実につなげようという意気込みで始まりました。案の根底にあったのはいかに自分たちがやっていて楽しいかというものでした。議論を重ねる中で、バブルサッカーという最近巷で流行っているスポーツを取り込めば、楽しく、かつ集客もしやすくなるだろうと見込んで、チャリティーバブルサッカーをメインに置く方向性で決定いたしました。

しかし新しいスポーツであること、危険の可能性も伴うため写真のように事前に B ゾーンの会員を集め、当日の運営をスムーズに行うための企画説明会や、事前に一度バブルサッカーに参加し、内容の理解を深めるなど慎重に企画を進めました。



②当日を通じて

告知が遅れたにも関わらず多くの一般の方々に参加いただけました。また、バブルサッカー協会からの協賛もいただき、当日は審判役としてバブルサッカー協会の方にも来ていただけました。ゲーム数は5~6試合を3セット行い、計17試合行いました。

なるべく多くの人と協力し楽しんでもらえるように、チームは試合のごとに組み替えながら行い、組み合わせるチームもコミュニケーションが図りやすいように、それぞれの相性が合うチームになるようにグルーピングするなど様々な工夫をしました。その甲斐あってか、ゲームは大いに盛り上がり、休憩中にも他のチームへの声援が飛び交うほどでした。

